

2022年3月期第2四半期 決算説明会資料

セレンディップ・ホールディングス株式会社





Table of Contents

- 1.会社概要
- 2.特徴と強み
- 3.2Q業績
- 4.事業セグメント別業績見通し
- 5.カーボンニュートラル
- 6.Appendix

会社概要

ABOUT COMPANY

—
*we can create
a better world*



100年企業の創造：日本の中堅・中小製造業に経営革新をもたらし、 中小企業の未来を創る

私たちセレンディップグループは、モノづくり企業に特化した事業投資会社として、「経営の近代化」と「地方創生」を積極的に推進します



事業承継プラットフォームの構築

モノづくり製造業を柱にした
地方型事業承継の確立

長期保有を前提とした
成長へのコミットメント



中小企業の経営近代化

プロ経営者を軸とした経営革新

徹底した効率化と見える化を
軸としたDX



ナレッジの蓄積・還流

次世代経営者の育成

M&Aによる業界再編、事業承継の
標準化と外部企業への提供

(注) 社会環境や産業構造の急激な変化を敏感に察知して、時代にフィットした経営を行うことを、当社では「経営の近代化」と呼んでいます。

セレンディップグループ企業一覧

成長するモノづくり企業とそれを支えるプロフェッショナルをグループ化


セレンディップ・ホールディングス株式会社

「モノづくり」セグメント

「プロフェッショナル・ソリューション」セグメント

「インベストメント」セグメント



社名	天竜精機	佐藤工業	三井屋工業	セレンディップ・ホールディングス	セレンディップ・テクノロジーズ	セレンディップ・フィナンシャルサービス
事業概要	自動化装置製造業 (FA装置)	オートマチック部品の自動車精密部品の製造	自動車内外装部品製造	プロ経営者派遣	設計・開発のエンジニア派遣、ソフトウェア設計・開発・販売・保守	投資・ファイナンシャルアドバイザー事業
資本金	63,000千円	98,800千円	75,000千円	593,978千円	37,500千円	5,500千円
従業員数	115名 (21年4月末時点)	84名 (21年4月末時点)	216名 (21年4月末時点)	23名 (21年4月末時点)	104名 (21年4月末時点)	3名 (※ホールディングスより出向)
売上	約1,533百万円 (2021年3月実績)	約4,872百万円 (2021年3月実績)	約6,460百万円 (2021年3月実績)	約14,460百万円 (2021年3月実績_連結ベース)	サンテクト：約398百万円 (2021年3月実績) エムジエク：約272百万円 (2021年3月実績)	約896百万円 (2021年3月 設立)

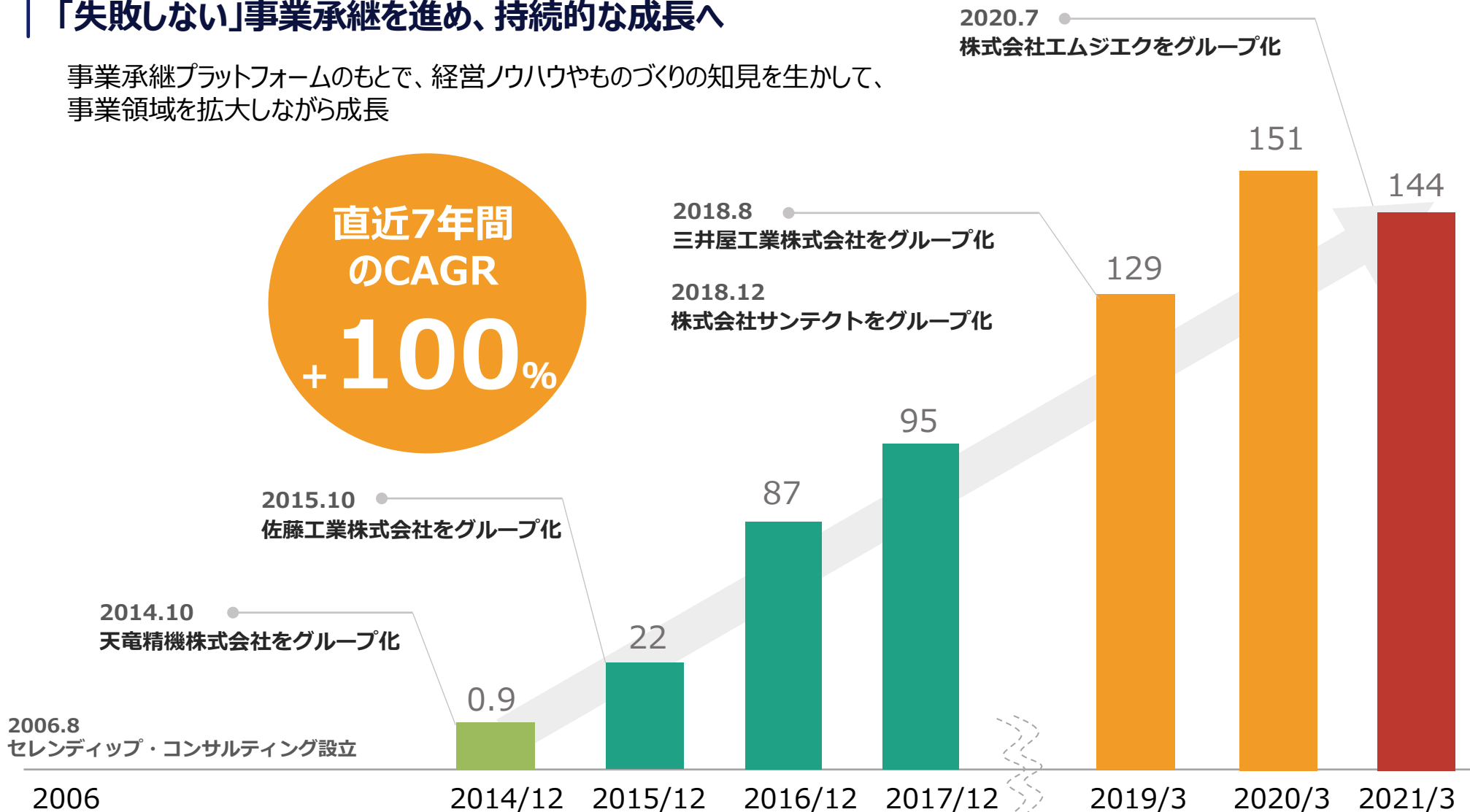
事業承継型M&Aによる規模拡大

売上高推移
単位：億円

「失敗しない」事業承継を進め、持続的な成長へ

事業承継プラットフォームのもとで、経営ノウハウやものづくりの知見を生かして、事業領域を拡大しながら成長

直近7年間の
CAGR
+ **100%**



(注1) 2017年12月期以前の数値については、EY新日本有限責任監査法人の監査を受けておりません。

(注2) 2018年3月期については、変則決算となっており、比較が困難であることから割愛しております。

特徴と強み

Characteristics and Strengths

—

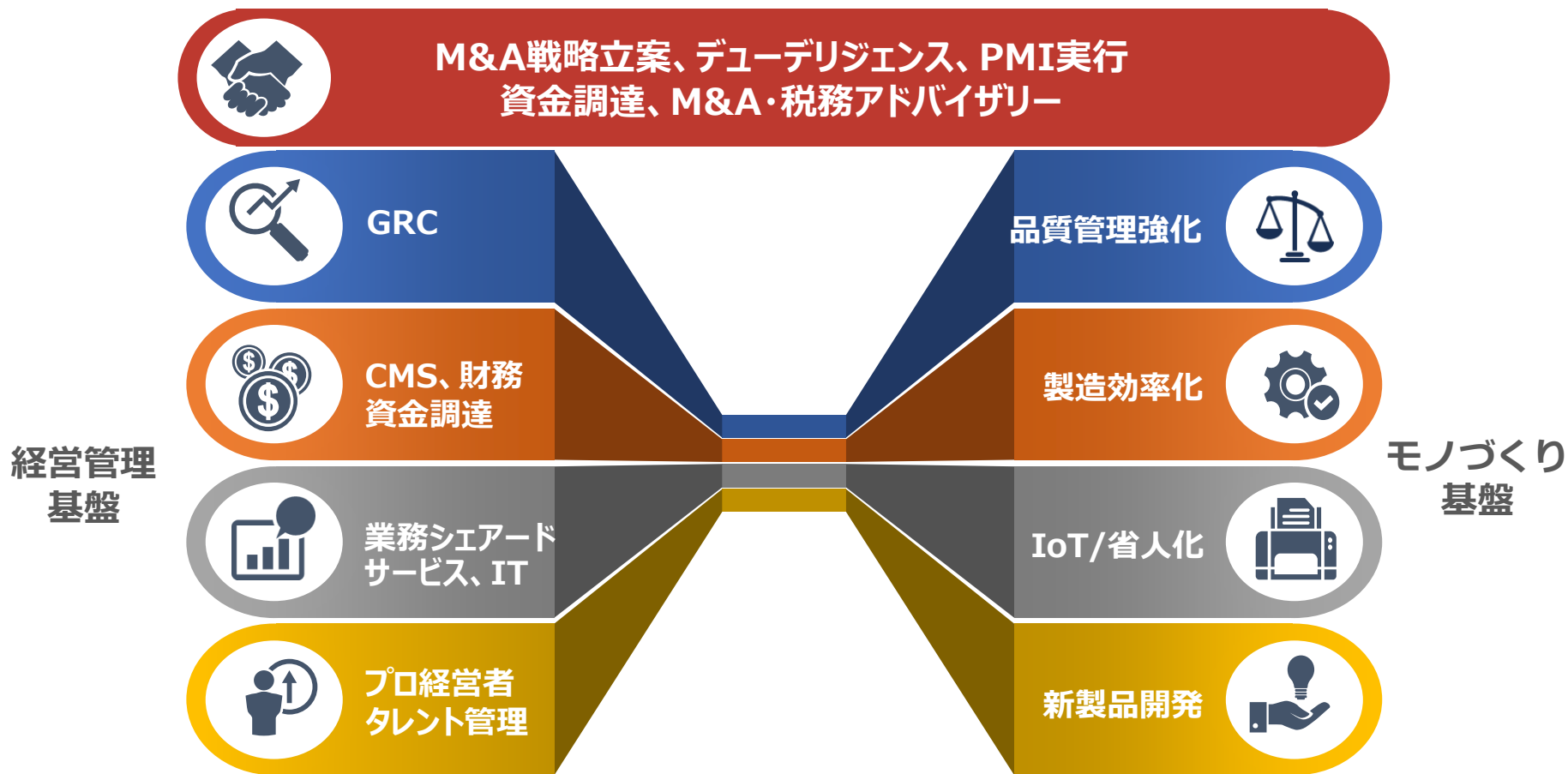
*we can create
a better world*

∨

セレンディップの特徴と強み①：“事業承継プラットフォーム”

セレンディップの「モノづくり事業承継プラットフォーム」はワンストップで事業承継に必要なすべてのソリューションを提供します。

投資基盤/事業承継基盤



(注1) デューデリジェンスとは、企業の財務情報の正確性や法的なリスクを確認することを目的とした調査をいいます。

(注2) PMI (Post Merger Integration) とは、当初計画したM&A後の統合効果を最大化するための統合プロセスを指します。

(注3) GRCとは、ガバナンス・リスクマネジメント・コンプライアンスを指します。

(注4) CMS (キャッシュ・マネジメント・システム)

セレンディップの特徴と強み②：買収後の経営を支えるプロ経営者

プロ経営者がPMIで実践する5つのマネジメント

高度な専門知識や資格を持った経営プロフェッショナルが、5つのマネジメントを実行し、PMIにおける経営課題を迅速に解決していきます。ノウハウを標準化することで、混乱期を短期間で抜け出すことが可能になりました。



セレンディップの特徴と強み③：投資における2つのビジネスモデル

セレンディップの中核をなす2つのビジネスモデルにより、投資戦略に柔軟性を与え、長期で安定的な成長が可能となります。

セレンディップ・ホールディングス

M&A(自己勘定投資)

チェンジ
マネジメント

DX

営業キャッシュ
フロー

設備・開発・人材投資

持続的成長へ
ストック型安定成長モデル

セレンディップ・フィナンシャルサービス

ファンド・共同投資

チェンジ
マネジメント

バリューアップ

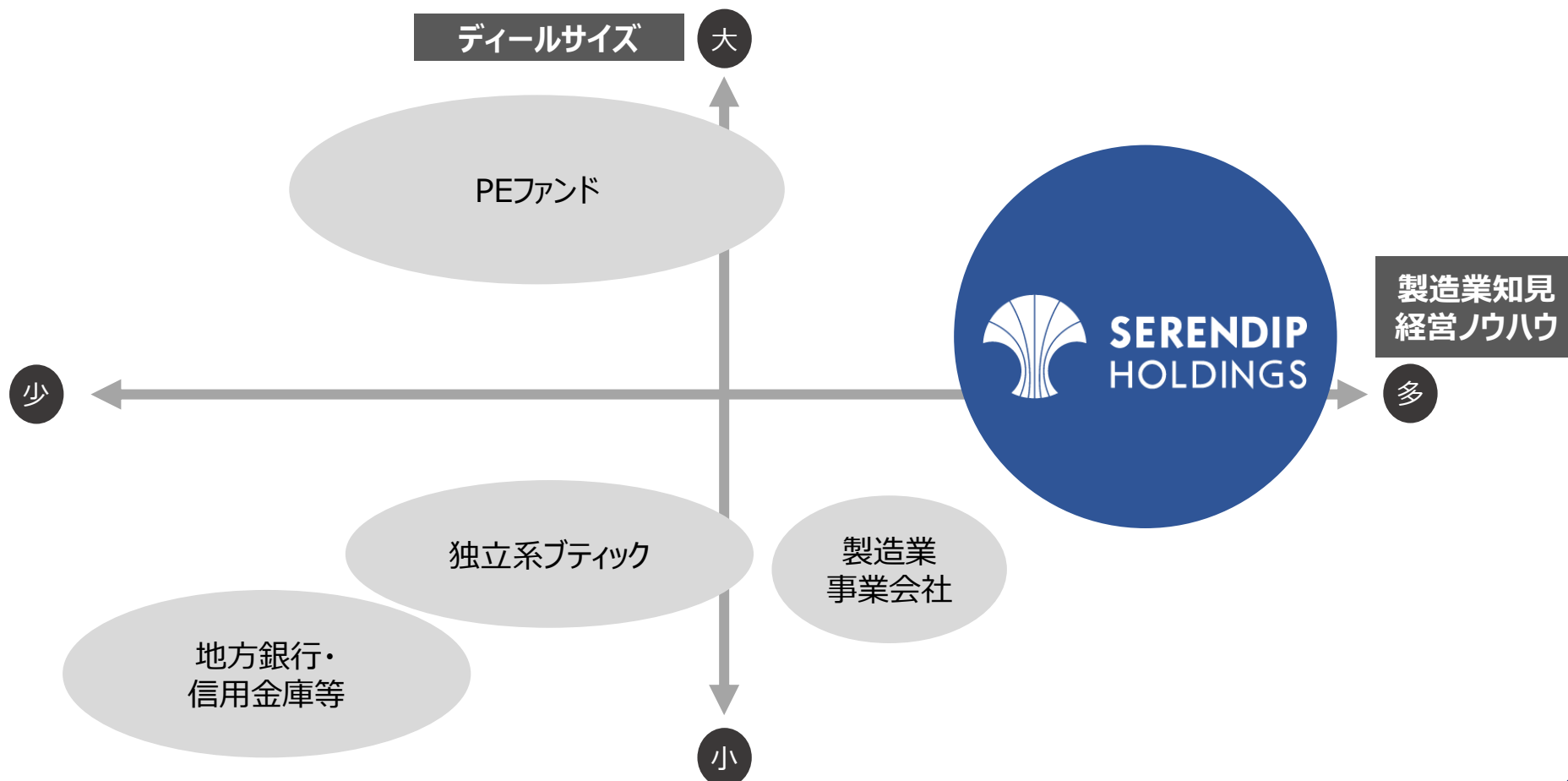
EXIT

再投資へ
フロー型高収益モデル

セレンディップの特徴と強み④：独自の市場ポジショニング

譲渡価格だけではない。理念と未来への共感を醸成する。

セレンディップの投資はEXIT（売却）を前提としない株式保有により、オーナー、従業員、顧客、取引先に安心してもらえる事業承継を実現します。



2Q業績

Second Quarter 2022 Financial Results

—
*we can create
a better world*



2022年3月期 第2四半期累計 連結業績サマリ

売上高は、概ね前年同期比並みで着地

営業利益は、インベストメント事業で前期に投資先売却益を確定させた反動で大幅減少

売上高

6,646百万円

前年同期比 $\Delta 2.8\%$

営業利益

37.1百万円

前年同期比 $\Delta 80.2\%$

経常利益

6.2百万円

前年同期比 $\Delta 97.1\%$

親会社株主に
帰属する
四半期
純利益

13.2百万円

前年同期比 $\Delta 87.7\%$

(注) 前年同期につきましては監査法人の四半期レビューの対象外となっております。

2022年3月期 第2四半期累計 連結業績サマリ (セグメント別)

モノづくり事業

売上高
6,253百万円

対前年同期 +607百万円

前年同期比 +10.8%

セグメント利益

90百万円

対前年同期 +161百万円

前年同期比 — %

プロフェッショナル・ソリューション事業

590百万円

対前年同期 +67百万円

前年同期比 +13.0%

△20百万円

対前年同期 △71百万円

前年同期比 — %

インベストメント事業

16百万円

対前年同期 △873百万円

前年同期比 △98.1%

△32百万円

対前年同期 △241百万円

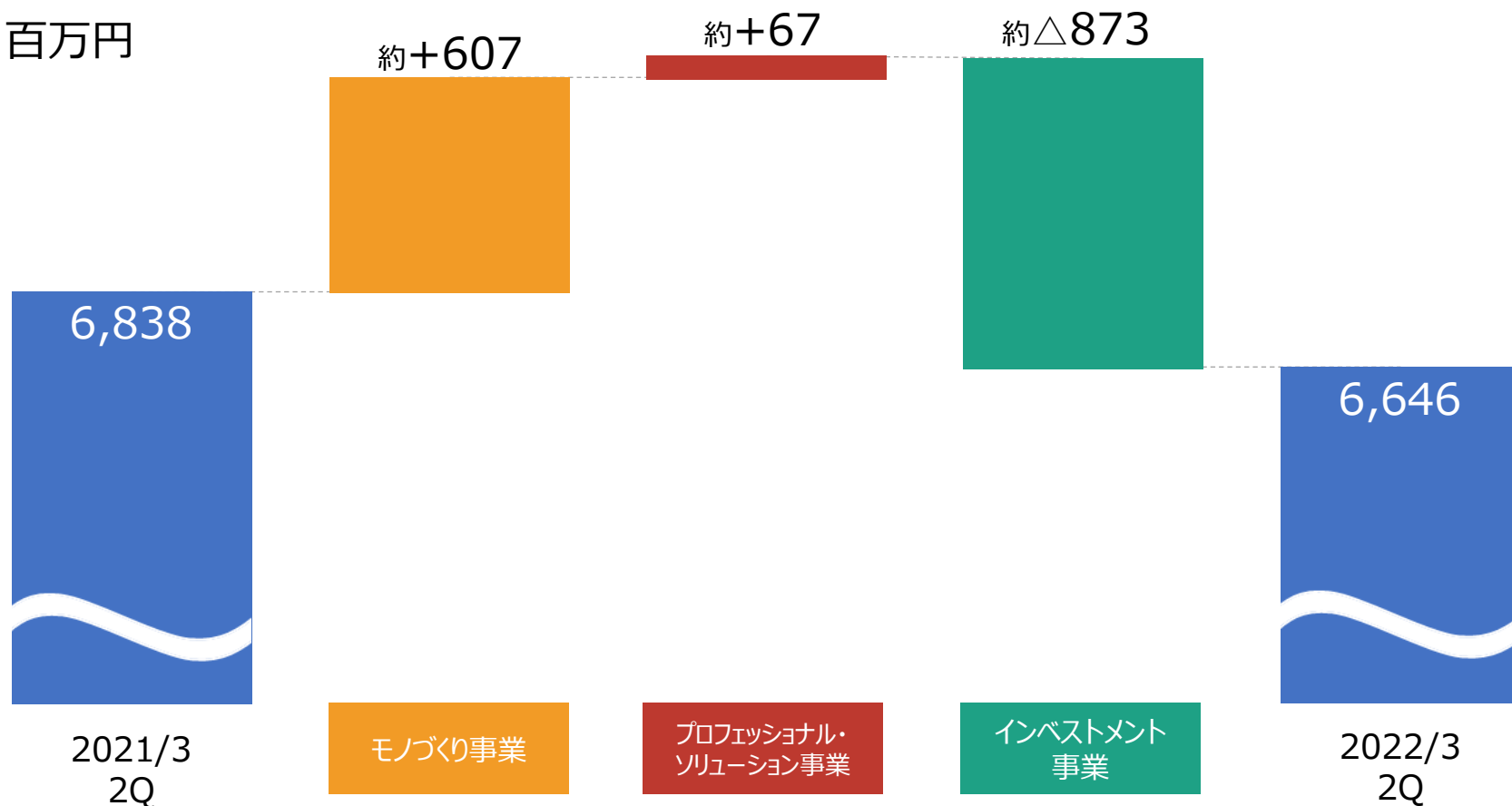
前年同期比 — %

(注) 前年同期につきましては監査法人の四半期レビューの対象外となっております。

2022年3月期 第2四半期累計 連結売上高増減分析

モノづくり事業：新型コロナウイルス感染症拡大の影響から受注が回復基調
プロフェッショナル・ソリューション事業：経営コンサルティング案件の受注順調
インベストメント事業：前期に投資先売却益を確定させた反動で大幅減少

単位：百万円

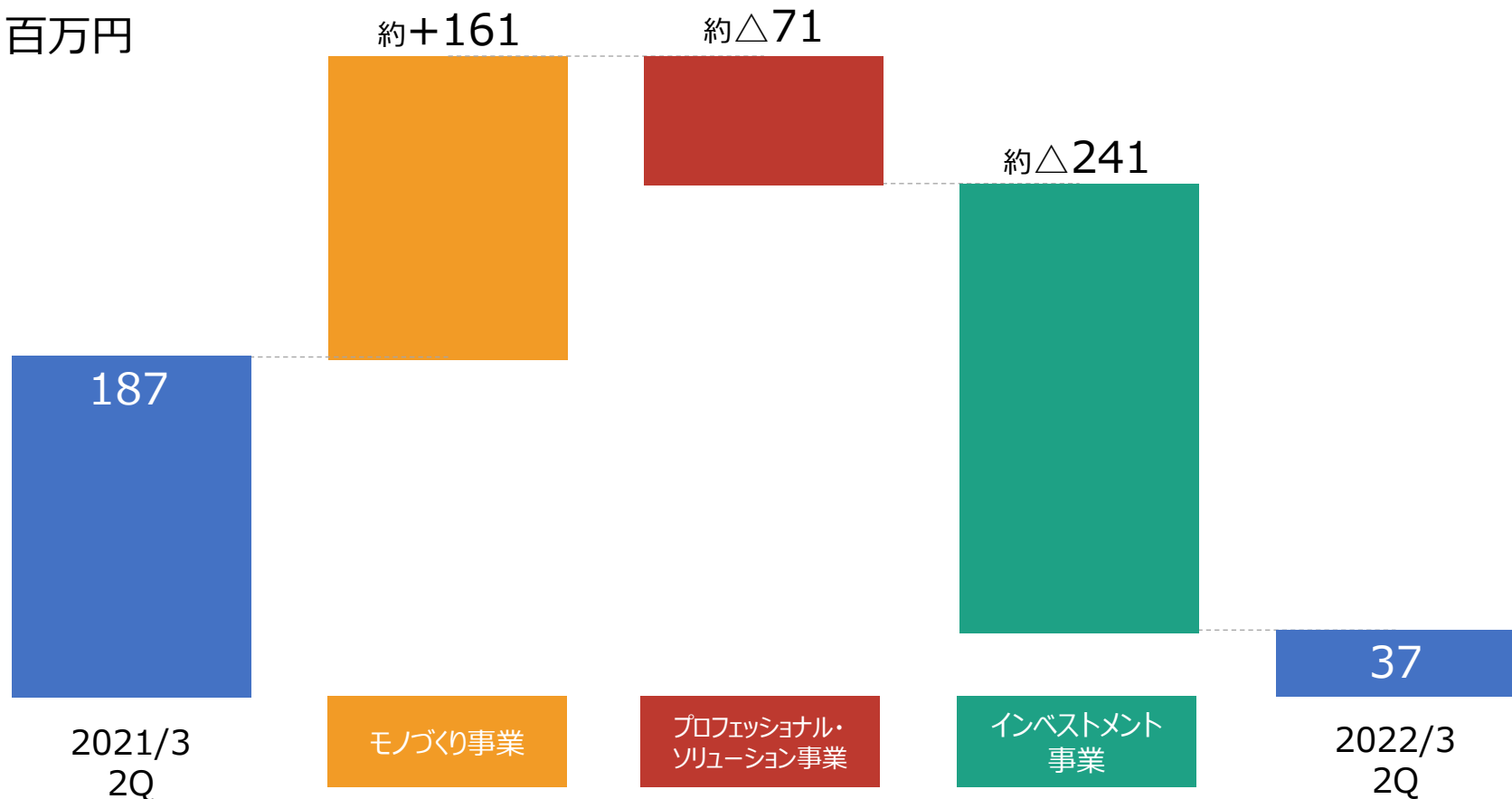


(注) 2021/3 2Qにつきましては監査法人の四半期レビューの対象外となっております。

2022年3月期 第2四半期累計 連結営業利益増減分析

モノづくり事業：受注回復、製造現場における生産性改善により営業利益が増加
プロフェッショナル・ソリューション事業：人件費等の投資が先行
インベストメント事業：前期に投資先売却益を確定させた反動で大幅減少

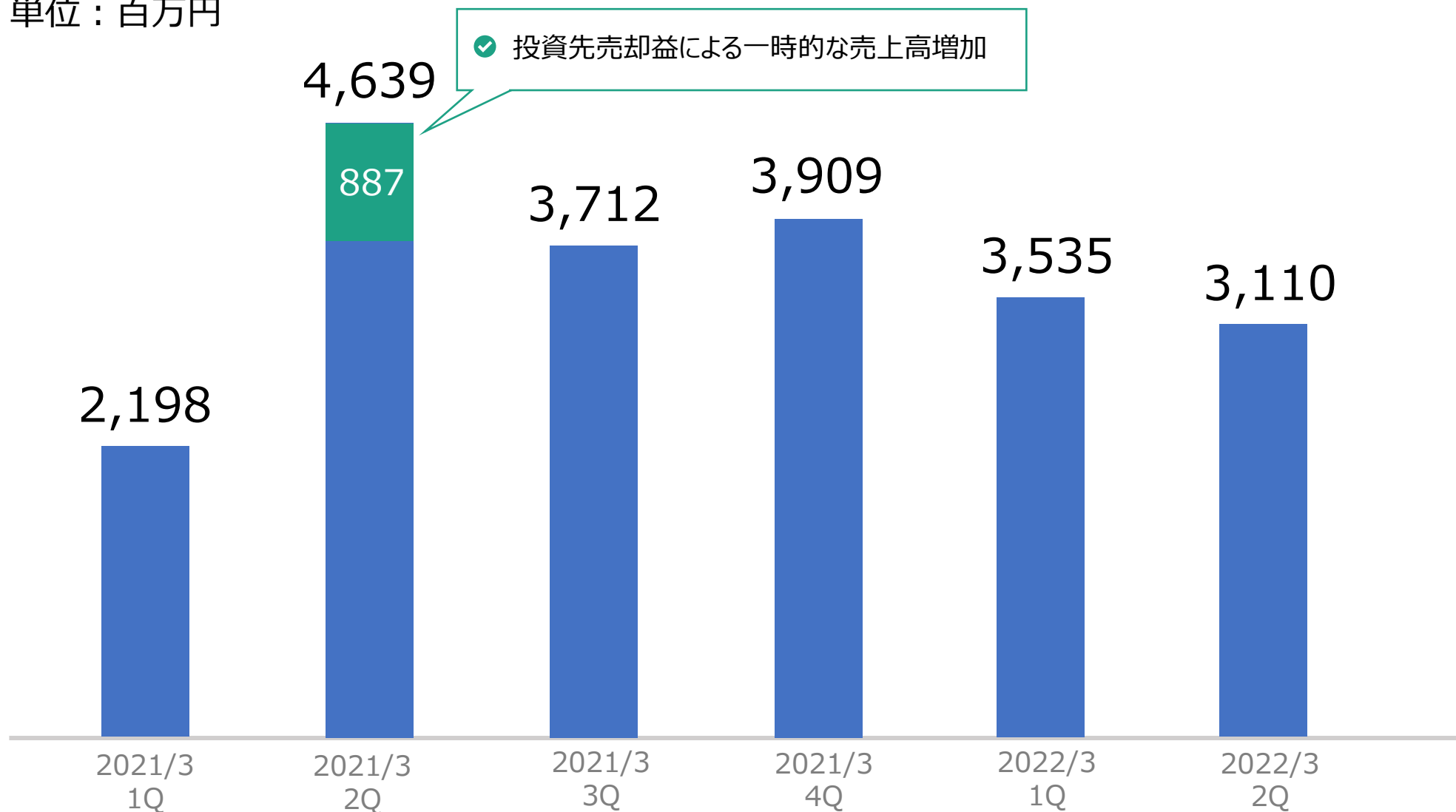
単位：百万円



(注) 2021/3 2Qにつきましては監査法人の四半期レビューの対象外となっております。

連結売上高四半期推移（会計期間）

単位：百万円



(注) 2021/3 4Q以前につきましては監査法人の四半期レビューの対象外となっております。

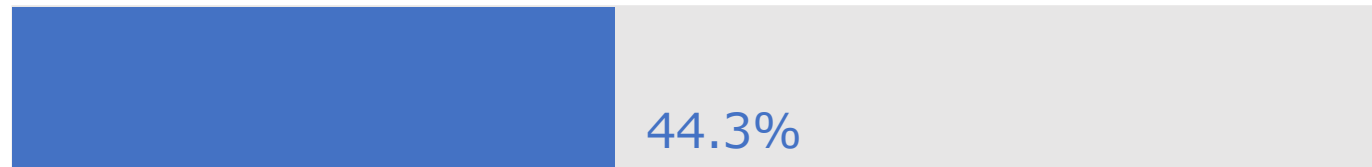
通期連結業績予想に対する進捗率

売上高は、概ね通期業績予想通りで進捗

営業利益は、半導体不足による減産影響はあったが回復基調、業績予想に変更なし

売上高

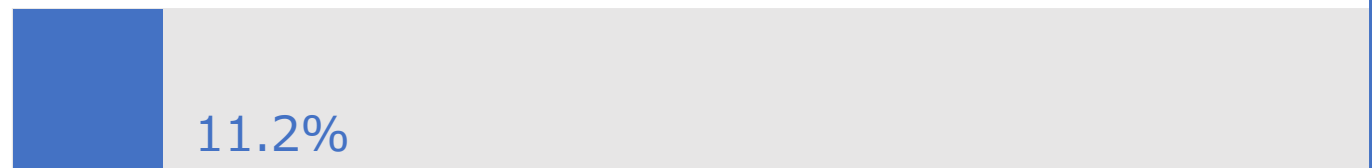
2022/3
2Q累計



業績予想
15,010百万円

営業利益

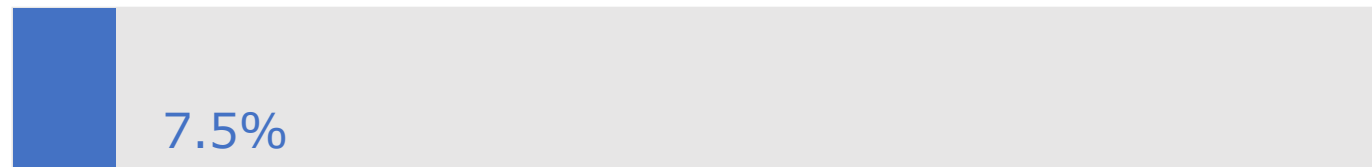
2022/3
2Q累計



業績予想
331百万円

親会社株主に帰属する 当期純利益

2022/3
2Q累計

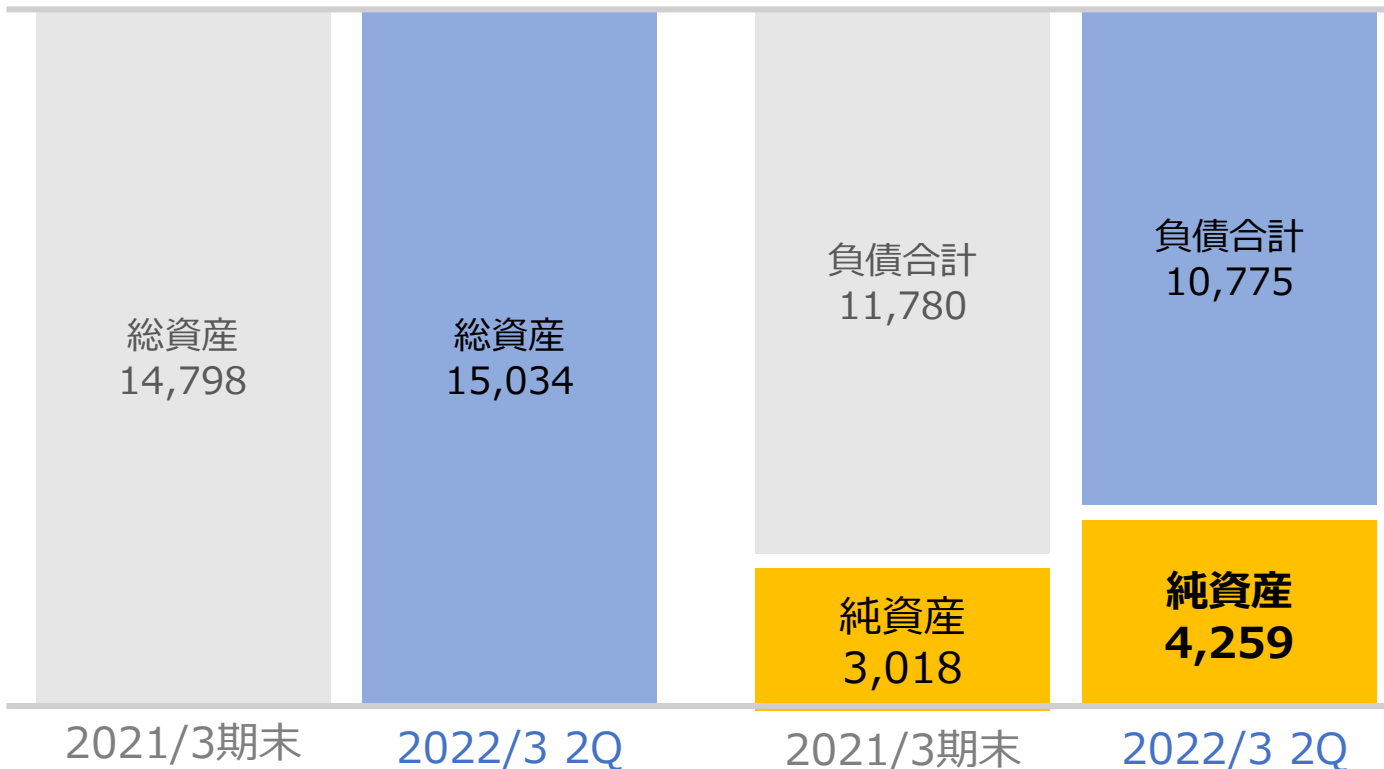


業績予想
175百万円

連結貸借対照表サマリ

- ✓ 自己資本比率は、前期末19.8%から27.7%に増加
上場による公募増資による純資産増加 +1,016百万円
保有する有価証券の評価益増加 +185百万円
- ✓ 補助金活用し、新工場建設コストを抑制 △644百万円

単位：百万円



自己資本比率

27.7%

前期末比+7.9%

事業セグメント別業績見通し Earnings Forecast by Segment

—
*we can create
a better world*



セグメント全体像

① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）

② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

セグメント全体像

① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）

② プロフェッショナル・ソリューション事業

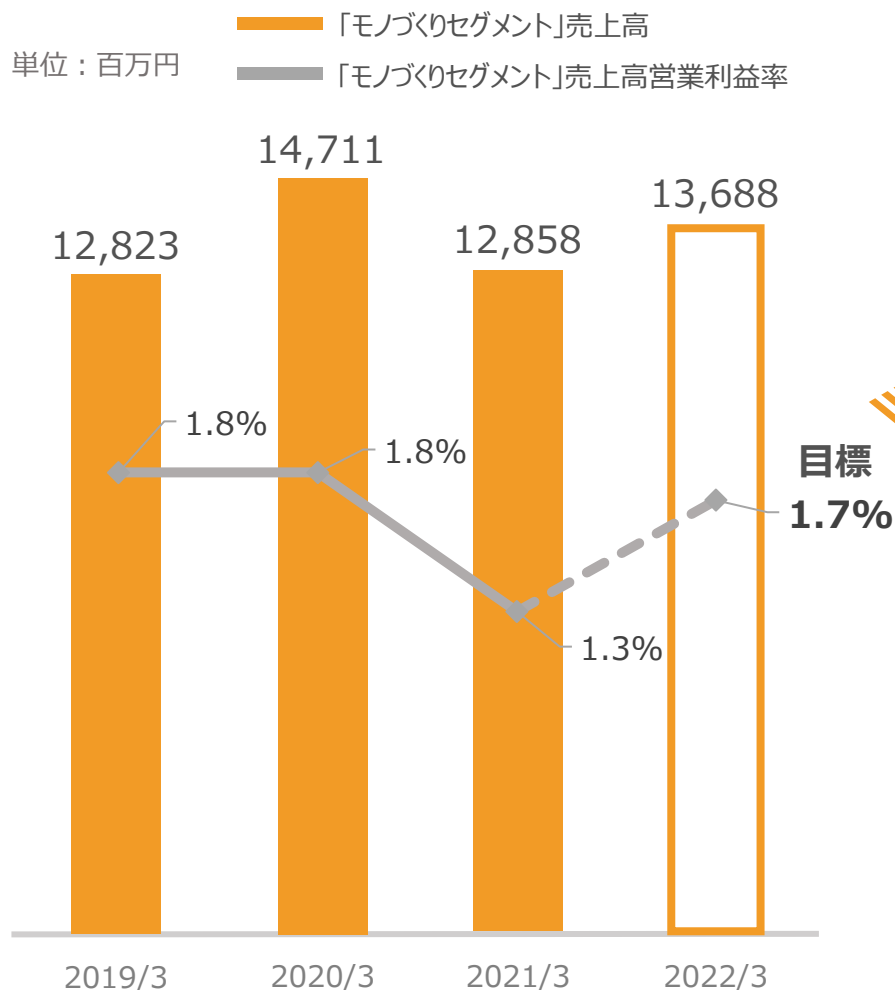
- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

モノづくり事業の業績見通し

モノづくりセグメントの目標とする「売上高営業利益率」の推移



3Q以降の見通し

売上高

自動車販売は国内外ともに好調である。半導体関連部品の供給と生産体制が整い次第、需要に応えるべく挽回生産を計画している。

営業利益

2022年3月第2四半期は従業員の多能工化、不良低減や生産効率の改善に注力した。左記の改善効果と売上高の増加を受けて、売上高営業利益率目標は達成見込み。

(注) 「セグメント情報」のセグメント売上高・セグメント利益の数値を基に記載しております。

セグメント全体像

① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）

② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

プロフェッショナル・ソリューション事業の業績見通し

プロフェッショナル・ソリューションセグメントの目標とする「外部顧客向け売上高」の推移

(注) 当社各子会社から収受する経営指導料は、セグメント内若しくはセグメント間の内部売上高のため、含めておりません。

単位：百万円

外部顧客向け売上高

目標
935



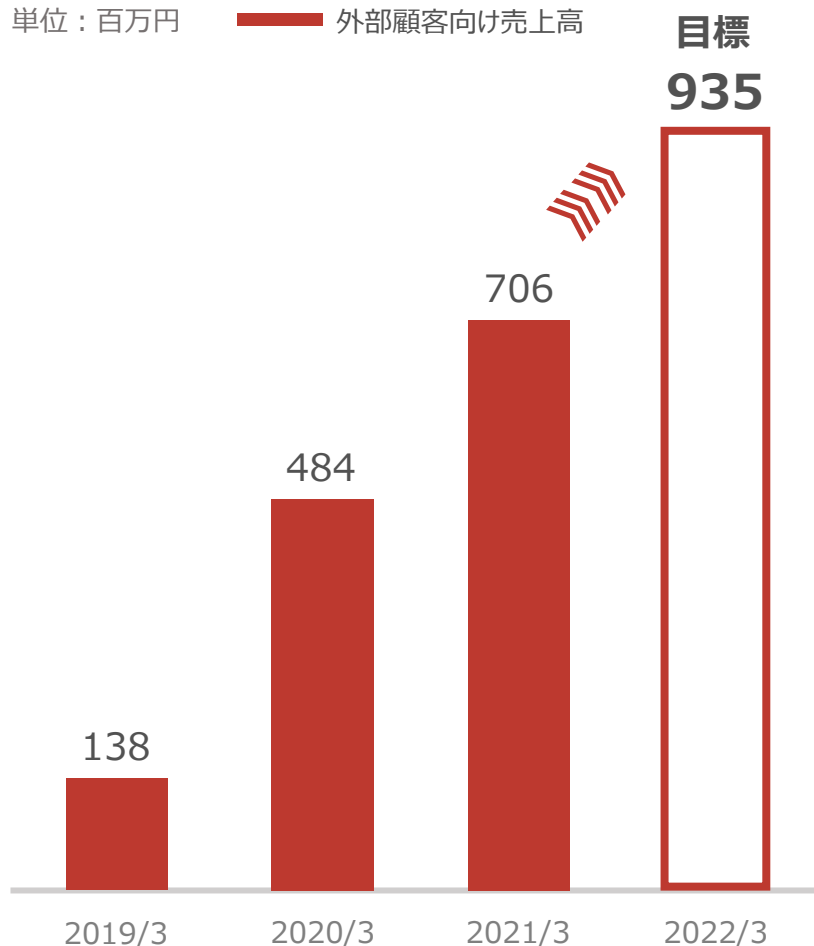
3Q以降の見通し

プロ経営者派遣、経営コンサルティング

新型コロナウイルス感染症拡大による厳しい経済状況の中で業績改善を前提とした業績改善コンサルティングの受注が好調。受嘱金額の大きな案件開始が下期に控えていることから増益見込み。

エンジニア派遣、ソフトウェア開発

IT人材はDX機運の高まりにより需要が高まるものの、エンジニアの採用競争が厳しい状況が発生した。人材の採用市場が活発化する下期は、IT人材の採用強化により需要に応え、目標とする外部顧客向け売上高は達成見込み。



(注) 「セグメント情報」の「外部顧客への売上高」数値を基に記載しております。

セグメント全体像

① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）

② プロフェッショナル・ソリューション事業

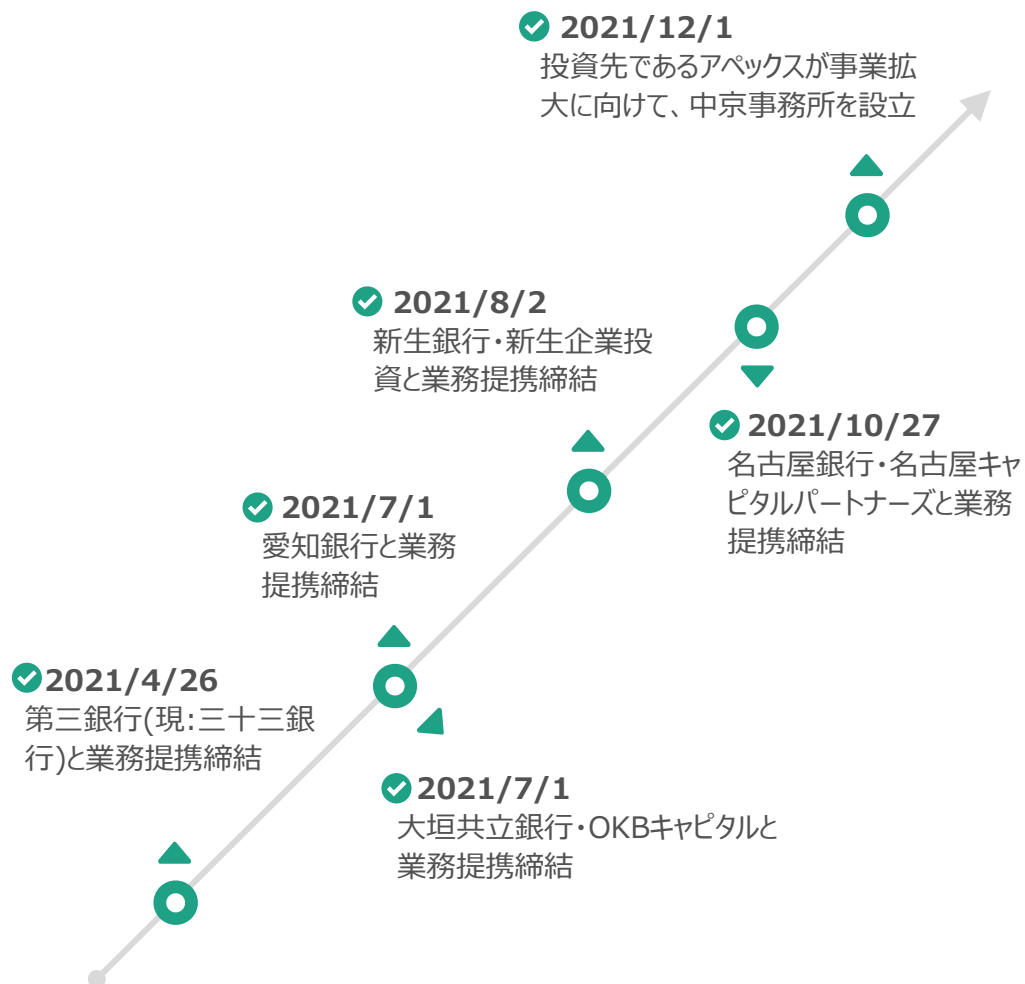
- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

インベストメント事業の業績見通し

インベストメントセグメントの投資・フィナンシャルアドバイザー実行への動き



3Q以降の見通し

投資・フィナンシャルアドバイザー

2022年3月期第2四半期は、上場準備に伴い中断していたM&Aの検討を再開した。

案件創出の機会の拡大のため、複数地方銀行とのアライアンスを締結。下期にかけて案件数は、増加見込み。

M&Aの件数・進捗

上場による知名度・信用力向上による影響及びM&Aマーケット環境の回復基調もあり、案件の問い合わせは増加傾向にある。また、M&Aの進捗についても複数の案件を検討中。

カーボンニュートラル Carbon Neutrality

—
*we can create
a better world*



リサイクル処理技術MPS (Mitsuiya material Pelletize System)

セレンディップグループの三井屋工業が開発した成形端材を主原料とするリサイクル処理技術が豊田ものづくりブランドへ認定

MPSとは

- ✓ 製品の端材を粉碎及び造粒し、再度自動車部品の材料へすることでコスト競争力向上
- ✓ 従来材の使用時と比較して最大38%のCO2削減し、環境負荷の低減

今後の展開

- 1 再生材料の自社利用促進だけでなく、樹脂端材の処理に困っている企業への販売・提供へ取り組む
- 2 一般家庭から出るプラスチックごみのリサイクルも視野に入れ、自動車業界並びに地域全体のゼロエミッション、カーボンニュートラルを実現するエコサイクルの構築

◆リサイクルモデル図



補足資料 Appendix

—
*we can create
a better world*



本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。



Serendip Holdings

愛知県名古屋市
中区栄2-11-7

Contact Us



ir@serendip-c.com



052-222-5306



<https://www.serendip-c.com/>

